



JAAP 写真展 公募作品募集

日本航空写真家協会)では、本年9月19日(木)～9月25日(水)、うち9月22日(日)は休館日ですが、東京新宿御苑前のアイデムフォトギャラリー『シリウス』において、JAAP 写真展『SKY MOMENTS 2024』を開催します。

この写真展は、JAAP 会員のみならず、趣旨にご賛同いただいた全国の飛行機写真愛好家のご応募を求め、わが国の航空機写真の高いレベルを示すものにしたと考えております。

今回も、出展者全員が一人1点の作品(全紙サイズを予定)を発表する写真展として行います。展示作品数はJAAP 会員・準会員分を含め、総数50点弱を予定しています。

飛行機写真愛好者の作品募集については、写真の被写体として扱えることが可能なすべての航空の分野(軍用機・

民間機等)と、国際航空連盟が認めた航空スポーツ(スカイダイビング・気球等)を対象とします。

応募条件 日本国籍を有する撮影者が日本国内外で撮影したもの、日本国籍を有しない撮影者が日本国内で撮影した航空にかかわる作品とします。出展者の年齢性別は問いませんが、未成年者については親権者の同意書をいただきます。展示決定作品の撮影者は、展示にかかわるコスト(プリント・表装費・返送費等計約3万円)をご負担いただくこととします。

応募プリント A4判とし、応募点数は5点を上限とします。応募作品は返却しません。

応募先

150-0036 東京都渋谷区南平台町12-9 (株)和航内 JAAP 事務局

郵便局のレターパックでお送りください。応募締切は2024年7月10日(木)とします。

なお、応募A4プリントについては、以下のような主催者希望事項がありますのでご注意ください。

応募プリントの縦横比率 写真展会場では全紙プリント(長辺535mm)で展示をします。これはプリント用紙の縦横比率ではなく、一般的なデジタル一眼レフによる元画像の縦横比率、すなわち縦：横は2：3のフォーマットとなりますが、基本的に応募プリントもこの縦横比率に合わせて下さい。必然的にプリント用紙の周辺には若干の余白(白フチ)が生まれます。

1 インド空軍の曲技飛行チームスーリヤ・キラン。会場後方より進入してきた9機のダイヤモンド編隊がループに向けて一斉に上昇開始。編隊は崩さずそのままループに移行する。スーリヤ・キランの演技開始は通常午後となるが、インドでは気温が35℃にも達する。この中で望遠レンズを上方に構えていると頭がクラクラしてくるが、他の観客は日傘もささず平然とフライトを鑑賞している。

Nikon Z9, 500mm f/5.6E + TC14E (700mm), f/8, 1/1250, S, -0.7, ISO220 230214/Yarahanka AFS, India **Photography by Takeda Yoshinori**

2 Destination Dubai キャンペーン特別塗装をまとったEmiratesのA380/A6-EEU。ドバイで会いましょうって、いつの日にかはね。明るいレンズで気楽に撮った。

Nikon Z9, 105mm f/1.4E, f/1.6, 1/125, M, ISO4000 231216/RJAA **Photography by Seo Hiroshi**

3 ANAは昨年12月6日以降、1日2便の成田-ホノルル便に3機のA380を全機投入。日常的に夕日イメージのオレンジ海亀3号機Flying Honu Ra(ラー)/JA383Aも見られるようになった。

Nikon Z9, Z70-200mm f/2.8S (155mm), f/3.2, 1/30, M, ISO6400 231220/RJAA **Photography by Seo Hiroshi**





4 Blue Impulse の課目 Cork Screw の全貌を語れるよう、向かってくる螺旋を的確なボリュームで撮りたかった。超望遠利用で距離をおき、バレルロールする6番機の位置も十分選択した。
Nikon Z9, Z800mm f/5.6S, f/10, 1/1600, M, ISO320 2311126/RJFZ Photography by Seo Hiroshi

5 5番機による Low Angle Cuban Take Off のワンシーン。松島 RWY25 エンドで頭上を越えた瞬間に撮影した。
Nikon Z7 II, 200-500mm f/5.6E (500mm) , f/7.1, 1/2000, M, ISO400 210120/RJST
Photography by Shumoto Masafumi



6 Tac Cross。撮影困難なのは、この直後の Inverted Cross。
Nikon D500, 500mm f/4E, f/9, 1/1000, S, ISO160 16091/RJSM
Photography by Seo Hiroshi

基本的なというのは、特段の作画意図がない場合ということで、例えば正方形の画像も意図があれば可とします。

画像密度 展示プリントは長辺535mmの大きなものです。展示プリントは通常200dpiの画像密度ですが、その場合の長辺は4,200pixel程度となります。大きなトリミングをされた作品では4,200pixelを下回る場合もあり得ます。なるべくこれ以上の画像密度を維持して下さい。

応募プリントの乾燥 ご自宅のインクジェット・プリンターで応募作品を制作された場合は、24時間程度乾燥させた後に梱包して下さい。

応募票 JAAPのホームページから「2024JAAP写真展・公募部門 応募票」(pdf)をダウンロードし、印刷後には各項目に楷書体で記載の上、作品裏面に貼り付け、応募して下さい。

応募作品は撮影者ご自身が著作権を有するものに限りません。作品タイトルは理由なく表記がないものは認めません。



なお、撮影者メールアドレスについては、JAAPから画像の添付ファイル等をお送り出来るものにして下さい。

原則的なことですが、撮影において法令(各地域の条例を含む)の遵守は当然として、立入禁止場所から撮影したものは、審査の対象外とします。

応募作品が第三者の肖像権、著作権その他の権利を侵害した場合、応募者の責任で解決していただきます。

応募者の個人情報、JAAP写真展及びJAAPの各種活動に必用な範囲で利用します。応募者の同意なく、利用目的を越えて利用することはありません。

正式決定 入選内定作品については内定通知後、速やかに画像デジタルデータ(仕上げTIFF画像およびRAW画像等の元画像)をCDディスク等へ書き込み、お送り頂きます。それが展示作品として十分なクオリティがあると判断した後に、正式決定とします。

画像補正については自由です。画像補正により撮影者の意図を一層明確にできるのであれば、非常に好ましいと考

えています。しかしながら、「写真の範囲」であると認められる作品のみを選考の対象とします。

また、よりよい写真展にするため、JAAPから改めて改修点を指摘させていただいたり、撮影者と相談しながらJAAPの側で改めて画像補正を行う場合があります。ご同意ない場合は入選内定の取り消しもあり得ます。

展示プリントの制作管理については、一切をJAAPにお任せいただきます。

入選内定者の展示作品につきましては、外注による展示パネル作成時点で経費が発生します。外注後、万が一にせよ写真展中止の決定がなされた場合にも、制作コストのご負担をお願いすることになります。その場合も展示(予定)作品はお送りします。その点、改めてご確認ください。

なお、『SKY MOMENTS 2024』にあわせ、JAAP BOOKS『Blue Impulse & the Counterparts』を発行予定です。第1区分課目の詳細や海外展示飛行チームを紹介します。写真展でも本書掲載作品の一部を展示します。